

## 議長定例記者会見（H 3 0 . 3 . 2 3 ）

### （報告）

お忙しいところお集まりいただきましてありがとうございます。

それでは、初めに、2月定例会採決結果について報告をいたします。

知事提出議案135件のうち、平成30年度青森県一般会計予算案を含む議案99件を可決・同意・承認し、報告のみが36件ありました。

議員発議案については、3件が可決、2件が否決となりました。

請願については、1件が採択となり、1件が不採択となりました。

次に、去る2月20日に発生しました、米空軍三沢基地所属F-16戦闘機による小川原湖への燃料タンク投棄事案に関してですが、2月24日、知事等とともに三沢防衛事務所内において小野寺防衛大臣と面談を行い、要望書を提出しました。

要望の趣旨は、事故原因の徹底究明と再発防止策に万全を期すること、速やかな原状復旧に努めること、また、直接的・間接的な影響を受けた事項に関し、確実かつ速やかな補償を行うことなどであります。

小野寺防衛大臣からは、これらの要望に対し、「大変重く受け止めており、しっかり誠意を持って対応していきたい」という発言がありました。

なお、皆さん御案内のとおり、今定例会において、議員発議第5号「米軍三沢基地所属F-16戦闘機による燃料タンク投棄事案への抗議と再発防止を求める決議」案が全会一致で採択されたところです。

このことについては、去る3月20日に小川原湖の「安全宣言」が発せられ、昨日、22日から漁を再開したとのことで、誠に喜ばしい限りであります。今後は、解決すべき補償問題等の課題について、一刻も早く解決されることを心から願っているところです。

私からは以上です。

## （質問）

○記者

2月定例会が無事閉会したということで、議長の御所感をまずお願いします。

○議長

今回いろいろ議案も上がりましたが、なんといいましても新年度予算案についてがやはり主だったと思います。その中で、今手元に資料がありませんが、例えば経済を回していくといったことや、あるいは2025年度問題への対応として青森県型地域共生社会の実現を目指して

いくという、知事が議会の中だけではなくて、一般県民の方々に対してもよくお話をされていることが、しっかりと盛り込まれた予算案ではなかったかと思います。議会としてそれを可決いたしました、その間にいろいろと議会としても質問をし、あるいは意見を申し上げてきたわけですが、やはり二元代表制ということですので、その執行に当たっては取組みがしっかりと行われているかということは今後ともチェックをしつつ、執行部と議会という車の両輪としてしっかりと進めてまいりたいと考えております。

#### ○記者

先般、県議会の議員定数等検討委員会が開かれて、次期県議選について、定数ですとか現行選挙区を現状維持のまま選挙を行うということを決めました。議長へ報告書はまだ提出されていないとは思いますが、もうすでに報道の方で知っていると思いますので、中身について議長としての御所感はいかがででしょうか。

#### ○議長

私も、一年前議長に就任するまではこの検討委員会のメンバーでありました。私が委員の時には、定数までが現行どおりということでもまず決定をされて、その後、人口比例でありますとか、一票の格差等といった議論を中心に進められてきたと伺っております。いろいろな意見があったとは思いますが、結論として青森県の実状、現状ということをお勘案しながら、現状維持という方針が出されたということだと思っておりますので、そのことは認識をいたしておりますし、受け止めております。

以上です。